



決勝レポート

2019/8/18 Rd-5 ツインリンクもてぎ

天候：晴れ 気温：36℃ 出走台数：20台

観客数：17日(土)17,500人 18日(日)19,500人 合計37,000人

シーズン中最も過酷なコンディションで迎えたツインリンクもてぎ。

福住選手 3番グリッド、山本選手は 8番グリッドから、それぞれポジションアップを狙う。ところが、山本選手はフォーメーションラップ開始というところでエンジnstールを喫してしまい、ピットレーンスタートとなってしまう。

各車フォーメーションラップを終え、グリッドにマシンが揃ったと思われたが、さらに2台がエンジnstール。結局スタートがディレイされ、1周減算の 51周でレースが再開された。

福住選手はしっかりとスタートを決めてポジション維持の 3番手で周回。僅差の 3台による 2番手争いが、スタートから 30周にわたり続く中、33周目にピットインした。

福住選手はメディアアムタイヤに交換してコースに戻った直後、温まり切らないタイヤでライバルをブロックする際のブレーキングでタイヤスモークを上げ、あわやコースアウトと思われたが、何とかコースに復帰。これでポジションを 5番手に落としてしまう。

表彰台を目指し順位を上げたい福住選手だが、ライバルを抜くには至らず 5位でゴール。

最後尾からのスタートとなった山本選手は、着実にポジションを上げ、13周目にピットイン。ソフトタイヤに交換し、前後の車両とギャップがある場所でコースに復帰。ここから好ペースで周回し、最終的に 9位まで挽回を果たしてゴールした。

1：山本選手 9位 (HONDA 勢 5位)

フォーメーションラップでエンジnstールをしてしまい最後尾スタートとなってしまう。ソフトタイヤに交換したピットアウト後は1分36秒台の好ペースで走ることができ、最終的に最後尾から 9番手まで上がったのは良かったですが、ポイントに手が届かなかったのは非常に残念ですし、反省しかありません。シリーズは残り2戦となりました。次戦岡山では何としても自分の力を発揮して、チャンピオンを獲れる位置に戻します。

5：福住選手 5位 (HONDA 勢 2位)

スタート後の 2番手争いでは僅差の中抜くに抜けない展開が続きました。レース後半でのピットインタイミングが、2番手のパロウ選手と同じになってしまい、結果的にはもう少し遅らせた方がポジション上げられたかもしれません。タイヤ交換後もタイヤをロックアップさせてしまい、ポジション挽回すべくやれることは全てやっと思いましたが、表彰台で終われなかったのは悔しいです。

改善しないといけない部分がありますので、山本選手のデータも含めてチームで分析し、さらに成長したいと思います。